

【CSR専門家とのステークホルダーダイアログ】

〈ステークホルダーの皆さま〉



國部克彦様
神戸大学大学院
経営学研究科教授



梨岡英理子様 (ファシリテーター)
株式会社環境管理会計研究所 取締役/
公認会計士・税理士/同志社大学商学部
講師(嘱託)環境会計/環境監査ご担当



立上和男様
パナソニック株式会社
環境本部 環境推進グループ グループマネ
ジャー・理事



広瀬雄樹様
積水ハウス株式会社 コーポレートコミュニケー
ション部 CSR室長/大阪市市民活動推進基
金運営会議委員



西山啓一様
学校法人同志社 理事
同志社香里中学校・高等学校 校長



田畑真理様
大阪ガス株式会社
CSR・環境部 CSR室 室長

〈京阪電気鉄道 参加者〉

経営統括室 経営政策担当 部長

経営統括室 経営政策担当 課長

経営統括室 経営政策担当 課長補佐

黒田博重**上須知己****落合功**

CSR専門家、企業のCSR・環境担当者、沿線学校関係者6名をお招きして、「鉄道事業の役割」と「鉄道以外の事業でのまちづくり」をテーマとしたCSR専門家との意見交換会を2012年2月2日に開催しました。ご出席の皆さまからいただいた貴重なご意見やご提案を今後のCSR活動の参考とさせていただきます。



■ 開催概要

日時:平成24年2月2日 13:00~16:00

場所:京阪電気鉄道株式会社 本社会議室

テーマ:〈第一部〉「鉄道事業とまちづくりについて」

〈第二部〉「鉄道事業の役割」と「鉄道以外の事業でのまちづくり」

■ 〈第一部〉での主なご意見・ご提言

- 少子高齢化の影響もあり、鉄道人口の今後の伸びは難しい中、CSRの視点で沿線の地域住民の満足度を高めていくことが重要と考えられます。
- 地震や津波の際、乗客にどのように避難を周知させるのか、また、復旧にかかる時間の情報提供などは非常に大切になります。その他、主要な最寄り駅における他の交通機関との連携も大事になります。
- さまざまな社会貢献活動を実施されていますが、車内のモニターで社会貢献活動の様子を積極的に紹介するなど、乗客へのアピールを進められてはどうか。京阪ファンを増やし、「選ばれる京阪」になるための一つの方法になると考えられます。

■ 〈第二部〉での主なご意見・ご提言

- 京阪電車が「ひらかたパーク」を運営している事を知らない人は多いと思います。レジャー事業やホテル事業など、グループ全体の事業活動のつながりはあまり知られていないと感じます。
- 「くずはロースタウン」や「ひらかたパーク」のバラ園など、バラをコンセプトとされていますが、今ひとつ認知度が低いと感じます。ひらかたパークで長年開催されていた「枚方大菊人形展」のイメージから、京阪と言えば「菊」を思い浮かべる人も少なくないかも知れません。統一したコンセプトを持って、沿線の地域住民に親しまれることが大切だと思われます。長期的に見ればそれが京阪電車のブランドの確立につながるのではないのでしょうか。
- 地元出身者としての意見を言えば、石山坂本線沿線は歴史的重要地が多く観光資源が豊富です。また、滋賀県の地域住民にとっては生活の基盤となっているとても大切な路線です。この路線を京阪の資源として捉え、他社との差別化を考えられてはいかがでしょうか。
- 2010年の秋にISO26000が発行されて、本業としての地域社会貢献が重要視される流れにあります。地域社会の利便性の向上への投資などを行ってはいかがでしょうか。

ダイアログを終えて

今回、CSR専門家の方々とのステークホルダーダイアログを初めて開催し、有意義な意見交換をさせていただきました。皆さまのご意見から当社に期待されるCSR活動を認識することができました。また、大学生の方々の率直なご意見も新鮮に感じました。

今後も引き続きさまざまな形で連携させていただき、CSRのレベルアップにつなげたいと考えています。

京阪電気鉄道株式会社

経営統括室 経営政策担当 上須 知己

